

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2015年 第154号 平成27年6月定例会等の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事

女性消防隊員

対談！と

市議会

特集記事	2P・3P
審議結果(トピックス)	4P・5P
委員会活動等	6P・7P
一般質問	8P~11P
きみの未来、あなたの未来	12P
議会のうごき 編集後記	

平成27年8月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

女性消防隊員 と 市議会

特集記事第3弾は、勝浦市で活躍する女性消防隊員のみなさんとの対談です。

さて、今回はどのような意見が飛び出すでしょうか？



市民と議員との距離があるように感じます。

住み良い街にしていくためにも、距離感を縮めて欲しいです。

【女性消防隊員になったきっかけは何ですか？】

以前から消防活動に興味があり、女性消防隊員募集のポスターを見て、志願して入隊しました。

かつて医療関係で働いていて、救急救命士の資格を活かして役に立つことをしたいと思ったのがきっかけです。

女性らしさを活かし、質問とか、接しやすい部分もあるので、そういった部分で活動を広げていきたいです。

【具体的にどのような活動をしていますか？】

現在8名で活動していますが、主な内容は、歳末特別警戒のほか、勝浦市消防署管轄の各地域を区切って、火災警報器が、一般家庭に取り付けられているかというような実態調査を2人ずつ交代で、勝浦消防署の方と一緒に巡回したり、独居老人の皆さんのご家庭を火の用心の見回りに行ったりしています。

【活動でたいへんなことは？】

人数的に少ないので、人員の確保が何よりも課題です。女性議員の皆さんにも是非参加して欲しいです（笑）

また、どうしても家庭を空けることも多くなってしまうので、家族の理解があつてこそその活動だと思っています。歳末特別警戒のときなどは特にそう感じます。

【今後、やってみたい活動等はありませんか？】

消火器の取り付けで、各地域をまわっている時にひとり暮らしのお年寄りがたくさんおられて、一日中、人と接しないお年寄りもいらっしゃるのかなと思います。話をしているうちに泣きだしてしまうお年寄りもいたので、消防団の仕事とはかけ離れてしまうかもしれないませんが、地域の交流、お年寄りの心のケアなどのお手伝いも出来るのかなと思います。男性には相談出来ない事も我々には話しやすいと思いますし。

【皆さんが考えるこの地域の課題は何ですか？】

過疎であることと、高齢化社会、少子化が進んでいるということが、各地域をまわっていて本当に実感出来ます。車も通れないような場所に住んで居る方も多く、そうした皆さんのサポートを今後どのようにしていくのか、顔見知りになってあげたりとか、そういったことにつながっていかないと、女性

ならではのことが出来たらいいなと課題として思っています。

【市議会や議員のイメージは？】

今回、女性議員の誕生で、勝浦市が変わるんじゃないかなと思って、すごく期待があって、楽しみに感じています。過疎など色々問題もありますが、少しでも女性のパワーで、男性とは違う目を向けられる所が、沢山あるんじゃないかなと思います。今回の対談も、女性議員が参加していることで雰囲気

【市議会や議員にのぞむことは？】

市民と議員の距離が、まだまだあるように感じます。市民の声を反映させるといっても、4年に1度の選挙が終わってしまいますと、その間なかなか意見を聞いてもらえません。もう少し、距離感を縮めていただければ、住みやすい街になっていくのかな、過疎化もなくなっていくのかなと思います。



平成27年6月定例会 審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○6月定例会 会期 6月8日～6月18日 11日間

●今回審議された議案

市長提出議案	…6件
議員提出議案	…2件
陳情	…0件
請願	…2件
諮問	…0件
合計	…10件

議会報では、審議された全ての議案の中から市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。

審議された全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。ただ、議会事務局までお問い合わせください。

●トピックス その1

国保税の負担軽減措置が図られます

議案第33号 勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第34号 勝浦市重度心身障害者の医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国保税の負担軽減措置として、以下の2点が改正されます。

①課税限度額の引き上げ

基礎課税額に係る課税限度額を51万円から52万円に、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を16万円から17万円に、介護納付金課税に係る課税限度額を14万円から16万円に、それぞれ引き上げます。

②低所得者に対する軽減措置の拡充

5割軽減の対象となる所得の算定において、被保険者の数に乘すべき金額を、26万円(現行24万5千円)に、2割軽減の対象となる所得の算定においては、被保険者等の数に乘すべき金額を47万円(現行45万円)に引き上げます。

また、重度心身障害者医療費の助成方法が現物給付に変わります。該当者の医療機関での窓口負担を軽減するために、受給券による現物給付制度を導入します。現物給付は、受給券を医療機関の窓口で提示し、医療機関で一定の自己負担をすればその場で精算できる制度です。

●トピックス その2

マイナンバー制度が

始まります！

議案第35号 平成27年度勝浦市一般会計
補正予算

今年の10月以降、すべての市民の皆さん宛に「マイナンバー」(12桁の個人番号)が通知されます。その後、来年1月からは「個人番号カード」が交付され、各種年金・社会保険・税などの事務手続きの際にマイナンバーの記載を求められることになります。

原則として、一度交付を受けたマイナンバーは一生変わることはありません。

また、個人情報保護のためマイナンバーは行政の閉鎖システムの中で管理され、その取り扱いも有資格者のみに限られます。

●トピックス その3

地方創生総合戦略が

策定されます！

議案第35号 平成27年度勝浦市一般会計
補正予算

勝浦市の地方創生を担う「勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。これは、国の提唱する地方創生(国内の各地域・地方が、それぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会をかたちづくること。魅力あふれる地方のあり方を築くこと)において、勝浦市がどのように取り組むかを具体的に示すものです。

策定にあたっては、市役所内部の検討委員会だけでなく、各団体の代表や大学生からなる地方創生戦略推進会議や、パブリックコメントの実施などを通じて検討を進め、本年11月末を目途に策定の予定です。

●トピックス その4

ふるさと応援寄附金が リニューアルスタート！

議案第37号(追加議案) 平成27年度勝浦市
一般会計補正予算

6月1日より、勝浦市のふるさと応援寄附金、いわゆる「ふるさと納税制度」がリニューアル。謝礼の品物を充実させ再スタートとなりました。謝礼額は納税額の50%、送料は1件あたり千円の計算で、6千万円の予算増額が認められました。税収の増額はもちろん、地元の産品をお礼に使うことで経済効果も期待されています。



※お礼には地元のお米や
魚介類、畜産品等が送
られます！

議長、副議長及び委員会委員を選出 議会選出監査委員の選任を同意

平成27年5月臨時会が開かれ、議長に寺尾重雄氏、副議長に佐藤啓史氏が選出され、議会選出の監査委員に黒川民雄氏を選任することに同意しました。

この他、千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員に丸沼氏、夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会議員に寺尾重雄氏、佐藤啓史氏、黒川民雄氏の3名が選出されました。

また、議会運営委員、各常任委員等が下表のとおり決まりました。



佐藤 啓史 副議長
市議3期目・無所属 43歳
総務常任委員会委員長・同
委員会副委員長、議会運営
委員会委員などを歴任



寺尾 重雄 議長
市議5期目・無所属 63歳
副議長、建設経済常任委員
会委員長、総務常任委員会
副委員長などを歴任



黒川 民雄 監査委員
市議6期目・無所属 53歳
副議長、議会運営委員会
委員長、監査委員などを
歴任

新しく決まった委員会の委員

○副委員長

委員会名	委員長	委員名	所管事項
議会運営委員会 (8人)	 末吉 定夫	○岩瀬 洋男 黒川 民雄 佐藤 啓史 鈴木 克己 土屋 元 松崎 栄二 丸 昭	・議会の運営に関する事項 ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ・議長の諮問に関する事項
総務文教常任委員会 (8人)	 土屋 元	○磯野 典正 岩瀬 洋男 岩瀬 義信 黒川 民雄 照川由美子 藤本 治 丸 昭	・総務課、企画課、財政課、税務課、市民課及び会計課の所掌に属する事項 ・選挙管理委員会及び監査委員の所掌に属する事項 ・教育委員会の所掌に属する事項 ・議会事務局の所掌に属する事項 ・他の常任委員会の所管に属しない事項
産業厚生常任委員会 (8人)	 鈴木 克己	○松崎 栄二 久我 恵子 佐藤 啓史 末吉 定夫 高梨 弘人 寺尾 重雄 戸坂 健一	・介護健康課、福祉課、生活環境課、清掃センター、都市建設課、農林水産課、観光商工課、勝浦診療所及び水道課の所掌に属する事項 ・農業委員会の所掌に属する事項 ・税務課課税係・徴収班(国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料に限る。)の所掌に属する事項 ・市民課国保年金係の所掌に属する事項
議会報編集委員会 (7人)	 戸坂 健一	○磯野 典正 久我 恵子 高梨 弘人 土屋 元 照川由美子 藤本 治	・議会報の編集、発行に関する必要な事項について協議する

各常任委員会・特別委員会等の活動報告

議会報編集委員会

ピックアップ!

みどり市議会が視察

7月2日に群馬県みどり市議会 議会広報特別委員会の委員の皆さんが、行政視察に訪れました。

当市議会 議会報編集委員会が行った誌面の全面リニューアルの経緯や特集記事等について活発な意見交換が行われました。



行政視察の様子

議会改革検討委員会

ピックアップ!

本市議会運営をより活性化し、開かれた議会づくりを目指し、もって市民の付託に答えるため、6月12日の全員協議会において、各会派等から6名を選出して、議会改革検討委員会を設置することとしました。

7月9日に第1回議会改革検討委員会を開催し、正副委員長を選出を行い、今後の検討事項、検討方針について協議しました。

今後は、定期的に委員会を開催し、検討を進めていく予定です。

委員長、副委員長及び委員は次のとおりです。

委員長	副委員長	委員
黒川 民雄	照川 由美子	岩瀬 義信 戸坂 健一 鈴木 克己 藤本 治

市政のヨコが聞きたい

一般質問



土屋 元議員

① 4月26日に執行された市議会議員選挙の開票速報の報道のあり方について

② 過去の議会にて質問・提案もしくは検討とされた案件並びに住民を悩ませている課題への対応策の取り組みについて

③ 今後の市政の取り組み方針方向性について

藤本 治議員

① 日本を海外で戦争をする国につくりかえる戦争法案への態度について

② ゴミの減量化やリサイクルとゴミ袋代値下げについて

③ 勝浦市立中学校の再編について

④ 国民健康保険税の滞納や分納の発生状況と対応について

磯野典正議員

① 今後の勝浦市の農業振興について

② 勝浦市森林整備事業計画について

岩瀬洋男議員
鈴木克巳議員
戸坂健一議員
佐藤啓史議員

① 後期高齢者医療制度について

① まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

① 市内漁港の活用策について

① 市長の政治姿勢について

一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。
また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。



土屋 元議員
(自由改革クラブ)

小学生の登下校時の黄色のヘルメット導入提案の検討について

交通災害から頭部を防護する方法として黄色のヘルメットの導入検討結果についてお聞きします。

全小学校へ見本のヘルメットを配布し、保護者会やPTA行事等で話し合いの場を設けて検討された結果「現在のところ、ヘルメットの必要性を感じていない」との回答が全ての学校からございました。

ニュー黒潮台住宅地の私道路整備と排水対策について

これまで市の管理物となっていない道路でありましたが、老朽化が進んでいるため市の管理道路とするために道路用地の寄附を、お願をして共有名義人に勝浦市が名を連ねて、市道認定をすることを基本に、道路等の整備を行ってまいりたい。

若潮台住宅地における防災無線の難聴改善対策についてお聞きします。

今後電波利用におけるデジタル化への移行を計画しておりますので併せて防災メールの登録推進を図っていききたいと考えます。

今年度側溝の改修や堆積土の撤去等を実施してきました。今後も災害防除の観点に立った管理を行いたいと考えます。

墨名区地先の天理教前丁字路交差点信号機の設置等を含めた小中学生の通学交通安全対策について

今迄特に検討はしていませんでしたが、ここは交通量が多く危険な場所でありますので、今後、信号機の設置につきまして勝浦警察署等を通じて要望してまいりたいと考えております。

今後電波利用におけるデジタル化への移行を計画しておりますので併せて防災メールの登録推進を図っていききたいと考えます。

勝浦駅北口の苗代台住宅地の排水整備について

集中豪雨時には浸水被害が発生する危険がある認識しています。そのため排水機能を改善するため、平成15年、24

天理教前の丁字路交差点





藤本 治議員
(日本共産党)

海外で戦争する国をつくる戦争法案への態度

Q 市長は違憲の戦争法案に反対し、若者を海外の戦場に送るなどの態度を表明すべきと思うが、どうか。

A 国会審議中であり、市長として意見を述べる立場にない。

Q 戦争法案反対の表明もなく、自衛官募集中の垂れ幕を掲げていて、起る結果に責任を感じないのか。

A 国の事務を法定受託でやっている。何も戦場に送るために垂れ幕を出しているわけではありませ

ゴミの減量化とゴミ袋代値下げについて

Q 御宿町では45リットの可燃ゴミ袋を一括発注し、町内どこでも一袋50円で販売している。うち袋代は15円ほど。勝浦市は40リットの袋代だけで25円から27円もする。一括発注により市民負担の軽減を図るべきではないか。

A 7年前の有料化開始の際、本市にとって有効な方法として採用したもので、変える考えはありません。

3校から1校への勝浦市立勝浦中学校の再編

Q 文科省が58年ぶりに見直した学校統廃合の手引きとは。

A 中学校でクラス替えの出来ない場合、統廃合の適否を速やかに検討する必要ありとされています。

Q 北中へ今年24名が入学し(興津中は22名、ちゃんとクラスが編成できているが、3年後には

勝浦中に行く、それが今度の提言です。32年度までの生徒数の推移を見て、各学年1クラスの編成ができなくなることはない。小規模校としての特質を発揮した教育が出来るのでは。

A 学校現場の声として、部活動の困難と単学級での弊害が出されております。

Q 勝浦中1校への統合、北中と興津中の2校の統合、今のままの3案が拮抗した場合、ごり押しは出来ないのではない

A この提言に沿って学校統合を進めてまいりたい。



磯野 典正議員
(新創かつうら)

勝浦市の農業振興について

Q 平成25年・26年の市内の耕作放棄地の面積はどのくらいあるかお聞きします。

A 市全体での耕作放棄地は平成25年が428ha、平成26年が445haです。農地面積の約31%が耕作放棄地です。

Q 今までに担い手確保・育成に向けたどのような進めてこられたか？

A 国の青年就農給付金事業を活用した取り組みで、45歳未満の独立・自営就農者について年間150万を最長5年間給付するもの。また、夷隅農業事務所で開催している、農業経営体育成セミナーなどへの参加を広報等で周

知している。

Q 県や関係団体との連携により今までに行ってきた取り組みをお聞かせください。

A ほ場整備事業の事業化や事業終了後における転作作物について協議しています。

Q 勝浦市の今後の農業をどのように進めていこうと考えているかお聞きします。

A ほ場整備事業を実施し、集団化を図り、大型機械による効率的な営農に取り組み、生産コストを下げるため機械の共同利用や、集落営農組合を組織していく必要がある。

Q 先進事例に学ぶために【勝浦の農業について考えるシンポジウム】等の開催を行ってほしいのですが？

A 先進事例に学ぶことは必要であると考え

ます。今後研究・検討いたします。

勝浦市森林整備事業計画について

Q 森林整備事業計画にある地域住民の参加による森づくりや木質バイオマスといった資源を積極的に活用するとなっていくが、どのように進めていくかお聞きします。

A バイオマス資源については大量の木材や蓄材が必要になる。勝浦市独自で出来るのか？また県南地域・または県内全体で行えるのかを研究しているかなければならない。



市内耕作放棄地



岩瀬 洋男 議員
(新創かつうら)

後期高齢者医療制度について

Q 健康診査受診率向上のための取り組みは

A 千葉県平均に比べて勝浦市の受診率は低い。

今年度は受診会場をキユステで実施することにより利便性の向上が図られると考えています。現在、各自の医療機関で検査を行っている人が多く、国民健康保険では治療中の検査データを市に提供していただくことで特定健康診査を実施したとみなす事業が導入できないか検討しています。

Q 長寿健康事業のこれから

A 平均で男性9年、女性12年くらいの介護

期間があります。

その期間をできるだけ短くするために市内の集会場などを利用して高齢者の方が参加できるように保健師、管理栄養士、食生活改善会の皆さんと運動教室、栄養教室などの健康教室を開催し、閉じこもりや認知症の予防のための運動をどんどん広げてやっていきたい。

Q ジェネリック医薬品についての見解は

A 医療費負担の軽減や医療保険財政の適正化や改善に有効なため利用促進を図っていききたい。

Q 65歳に達した障害者の方が、後期高齢者の医療制度へ移るか否かの周知は

A 現在も福祉課や税務課と連動し、窓口での説明を行っています。

Q 知らせるためにいろいろ工夫している市町村もあるようですので研究を

進め、実施していきたい。

Q 保険料軽減の特例措置について廃止の動きがあるが

A 現在、低所得者の方の軽減措置など3つの特例措置があります。国民健康保険の軽減割合との不公平感から平成29年より特例部分をなくし、本則に戻すとされています。

急激な変化とならないように、丁寧な説明を行い、市民が混乱しないように進めて行きたい。



健康ハツラツ教室



鈴木 克巳 議員
(新創かつうら)

まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

Q 勝浦市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定プロセスについて示されたい。

A 法律の目的や基本理念を踏まえ、県との調整を図りつつ、各種会議やアンケート調査による意見や事業提案等の収集を行い10月には骨子を固め11月中に策定する。

Q 人口ビジョン構想の考え方を示されたい。

A 地方創生の実現に向けて効果的な施策を企画、立案する上で最も重要な基礎数値と位置づけられる。

目指すべき将来の方向と合わせた上で勝浦市の現状分析を行い、人口ビ

ジョンを提示する。

Q 勝浦市の人口減少の要因をどのように分析しとらえているかお伺いします。

A 人口増減には、自然動態と社会動態によるものがある。本市では自然減が6割、社会減が4割となっている。主要因は、人口ビジョン策定の中で詳しく調査する。

Q 人口の減少は、地域経済の縮小となり経済の縮小はさらに人口減少に拍車をかけ負のスパイラルに陥る。これらを克服するための基本理念をどのように考えるか示されたい。

A 特に、「若者が求めている働く場所の確保」や「若者や子育て世代の希望をかなえるまちづくり」が中心となる。

Q 勝浦市を創生するため特に重点を置く施策について伺う。

A 企業誘致による雇用の創出(行川アイランド跡地に計画されている大規模リゾート計画では170名以上の雇用があり、多大な経済波及効果が見込めるため鋭意推進する)。

また、結婚、出産、子育て世代に対する施策の展開、道の駅等の小さな拠点づくり、便利で安心な暮らしのできる住みよい環境の確保と地域づくりを進める。





戸坂 健一議員
(新創かつうら)

市内漁港の活用策について

Q 漁業は勝浦市の基幹産業の一つである。しかし、漁業を取り巻く環境は日々厳しさを増している。これら問題の解決の為、今ある資源を最大限活用し、漁業の振興や漁港を使った新産業の創出を図っていくべきだ。市が管理する漁港について地元の声、あるいは観光客のニーズを反映し市は積極的に取り組むべきと考える。そこで、市内漁港の利活用について今後どのような考えで取り組んでいくのか。

A 漁業従事者の高齢化や後継者不足などにより、漁業は厳しい状況にある。今後は、漁業者の

所得の向上と地域にぎわいの創出を図るためにも、将来を見据え、新たな活用方法を関係漁業協同組合等と話し合いながら検討していく。

Q 漁港の活用方法を考える、その魅力を引き出す事は、ひいては漁業者や市民の利益にも資する。地方版総合戦略と漁業との関係について、現在整備中の地方版総合戦略の中に、その趣旨に沿った漁港の活用、漁業・漁港を核とした産業創出といった考え方を盛り込むべきと考えるが。

A 地方版総合戦略と漁業との連携については、現在検討中であるが市の基幹産業である農業・漁業は重要であるので、今後十分検討していく。

Q 海釣り施設の整備について、漁業者の権利を守り、釣り客のニ

ズとマナー堅持を図るため、また新産業の創出の為に全国的に需要が高まっている海釣り施設の整備を図るべきと考えるが。

A 海釣り施設整備について、釣り人と漁業者とのトラブルは把握しており、問題解決の必要性も感じている。また、海釣り施設整備の実現可能性については、市内漁港施設の利活用と合わせ研究してまいりたい。

市原市海釣り施設の様子



市長の政治姿勢について



佐藤 啓史議員
(新創かつうら)

Q 猿田市長は4年前の平成23年山口前市長の急逝により山口市政の継承を掲げて勝浦市第6代市長に就任されました。市長はこれまでの4年間でどのように総括されているかお聞きます。

A 山口和彦前市長の遺志を引き継ぎ、特に元気な勝浦をつくりたいという思いで、誠心誠意、全身全霊、スピード感を持って市政運営に当たってきた。1期4年を顧みると、山口市政を継承し「元気な勝浦」を実現するための基盤づくりを進めることができたと考えているが、その評価は市民の皆さまに委ねたい。

Q 市政運営に対する市長の将来ビジョンはどのように描かれているのか？特に地方創生を見据えた今後のまちづくりについて、市長のお考えをお聞きます。

A これまでの4年間で基盤をもとに、勝浦の地方創生を力強く推し進め成し遂げなければならぬと考えており、市民の皆さまの健康、福祉、安心、安全のための取り組みに注力してまいりたい。

旧行川アイランド跡地の、宿泊型の大規模リゾート計画が動き出しており、本市にとって、雇用の創出、観光客誘致、地場産業の活性化等、本市の経済波及効果に大きなメリットがあることから、市としては、できる限りの協力を惜しまず早期の事業着手を企業側に要請していく所存である。

継続事業としては、圍場整備の推進、新たな観光資源の創設、勝浦若潮高校の有効活用、松野パイパスの推進等がある。新たな事業としては、認定こども園の建設、防災行政無線のデジタル化、地籍調査の推進、道の駅の開設に向けた検討、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致活動等々の推進に取り組んでまいりたい。



勝浦若潮高校

きみの未来、あなたの未来



北中学校 2年
松崎 澪さん
まつざき れん

私の将来の夢は、薬剤師になることです。

私は小さい頃よく熱を出し、病院にかかりました。薬は病院にかかる多くの人を元気にしてくれました。血を見るのが苦手な私ですが、人の命を救う仕事に就きたくて、「薬剤師になろう」と決めました。

今も世の中には、「不治の病」と呼ばれる病気に苦しんでいる人が、たくさんいます。薬剤師になって、一人でも多くの人を助け、どんな病気も一粒で治せる薬を作りたいと思います。



議会のうごきについて報告します
(平成27年 5月～平成27年 7月まで)

議会のうごき

5月7日	議会報編集委員会	6月10日	本会議 一般質問
9日	勝浦いすみ青年会議所創立50周年記念式典並びに祝賀会	11日	本会議 一般質問
13日	全員説明会	12日	本会議 質疑・全員協議会
18日	5月臨時会	15日	総務文教常任委員会
20日	千葉県南部地区議会道路整備協議会役員会(茂原市)	16日	産業厚生常任委員会
22日	自衛隊ヘリコプターによる防災訓練(守谷海岸)	17日	全国市議会議長会総会(東京都)
22日	千葉県南市議会議長会総会(東金市)	18日	議会運営委員会
25日	千葉県自治体病院経営都市議会協議会役員会及び総会(千葉市)		本会議 最終日
27・28日	関東市議会議長会第81回定期総会(茨城県水戸市)		議会報編集委員会
29日	千葉県南部地区議会道路整備協議会総会(茂原市)	30日	防犯組合総会
29日	勝浦市シルバー人材センター定時総会	7月2日	群馬県みどり市議会議会報特別委員会視察
29日	市政懇談会	3日	交通安全協会総会
		9日	議会改革検討委員会
6月3日	議会運営委員会	12日	徳島県勝浦町制施行60周年記念式典(徳島県勝浦町)
7日	みずほ学園まつり	28日	いすみ鉄道対策協議会(大多喜町)
8日	本会議		

編集後記

勝浦市議会だより『みんなのギカイ』がリニューアルされ3回目の編集となりました。

今回から編集委員会のメンバーが代わりました。より一層この議会だよりが市民の皆様を読みやすく、そして議会がもっと身近に感じていただけるよう編集委員会メンバー全員で力を合わせて参ります。

議会報編集委員会 副委員長 磯野典正

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコード
はここだよ!



勝浦カッピー